

身長 Dream Project

スタート!!

身長高校のキャリア教育の特徴は、「将来就きたい仕事」から逆算して考えることです。

将来の夢が決まっている方も、まだ決まっていないという方も、どちらの方にも身長高校ではみなさんが安心できるように、ドリームプロジェクトというプログラムを組んでいます。

ドリームプロジェクトのテーマは一年生が「夢の発見」、二年生が「夢の育み」、三年生が「夢の実現」です。

一年生では、「産業社会と人間」の授業を通じて、職業の種類や自分の適性などを調べ、職業人インタビューを通じて、実際の企業の様子や働く大人の姿を見に行きます。それらをまとめる過程で、協働性やプレゼンテーション

能力を身に付けていきます。

二年生では、必要なスキルを獲得・向上させるために、自分自身に必要な授業を選択します。また、ポスターセッションなどを通し、発信力を高めていきます。

三年生では、夢の実現に向けて学力を高めるだけでなく、面接・小論文個別指導など、一人一人が必要なことを頑張るために、全職員が全力でバックアップします。

昨年度から、ICT教育のひとつとして、学習支援クラウドサービス「Classi」を導入し、学習活動や学校活動の記録を通じて、学習の「自立」を目指すだけでなく、一人一人のステージに応じた学習を支援しています。

平成30年度よりキャリアweek導入

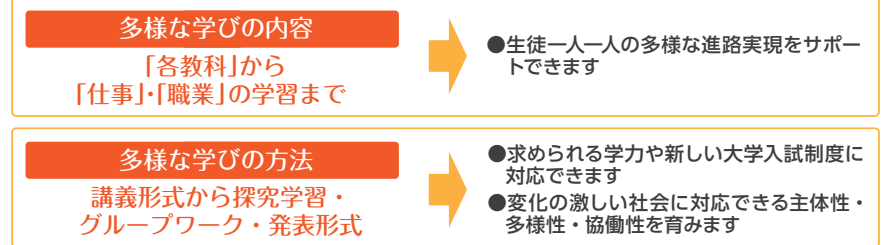
本年度より4月最初の1週間、キャリアWeekを導入しました。本校のキャリア教育一層の充実のために、1年次生は各種オリエンテーションやLHRなどを行い、高校生活の概要を知り、新しい生活に慣れるための週間としました。2・3年次生は、これまでの高校生活の自分の学習や部活動などの取り組みをじっくりと振り返り、自分の成長や課題を見つめる期間となります。その上で、新しい1年間をどうすごすかを考えるという意図で導入しました。



求められる学力観



身長高校は、**普通科目を基軸**にした**総合学科高校**だからこそ



連携型中高一貫教育

平成30年5月15日、正式に「連携型中高一貫教育の実施に関する協定」が、県教育委員会と身延町・南部町の各教育委員会との間で締結されました。中高6年間の一貫した教育を通じ、確かな学力と豊かな人間性を育み、地域と協働してキャリア教育を推進していくことを目指します。

校長のつぶやき



平成30年4月より、身長高校の校長を勤めております鈴木克志でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本年度がスタートして、既に3カ月程が過ぎました。その間、第70回高校総合体育大会(高校総体)及び関東高校体育大会での本校生の活躍、身延・南部地区中高一貫教育の次年度正式スタートに向けた協定書締結式、生徒の自己表現を高める学園祭「身高祭」等々が実施されました。

高校総体においては、男子が総合8位、女子総合27位と大健闘しました。小規模校がこのような大規模校と高順位を競うことは、並大抵のことではありません。生徒の

夢の発見・育み・実現をサポートする「ドリームプロジェクト」、校外の各種機関等との連携の中で生徒の思考力・表現力など次世代に向けて資質・能力を育む「魅力づくりプロジェクト」を基本に据えながら、本校は、「小規模校ながら光るものをもった高校」を目指しています。

「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善に加え、Classiの本格的運用を含めたICT活用など、時代の要請に即応した教育の実現を目指しております。将来に大きな夢を見ている皆さんを徹底的にサポートしていきます。中学生の皆さんの本校への入学を心よりお待ちしております。

SHINKO 身長VIEW

Vol. 5
2018.June
MINOBU HIGH SCHOOL

新年度スタート号



身長は、進化を続ける!



山梨から関東
そして
全国へ!!

高校総体 陸上競技男子

33年ぶり 総合優勝!! 女子4位!

学校対抗総合得点 男子8位/女子27位

関東大会 出場

- 男子ソフトボール部
- 陸上競技部
- カヌー部

のべ40名

本校生徒の約7名に1人が
関東大会へ!!

陸上部対談

身高トーク

陸上部 深沢萌絵 × 陸上部 川窪貴斗



—今回の男子総合優勝の率直な感想をお願いします。

川窪 素直に嬉しいです。33年ぶりの男子総合優勝の時に部長として立ちあえて本当に嬉しいです。

—なぜ、このような成果が出たのでしょうか。

川窪 昨年男子は総合2位で悔しい思いをしました。そのため冬の時期の辛い練習も全員が意識高く練習できたことです。あとは、顧問の小林先生や加賀美先生、OB・OGの先輩方の指導やサポートも大きいと思います。

—冬の辛い練習ってどんな感じ。

深沢 身延山の階段トレーニングや、いくつかのメニューを順番にやるサーキットです。

—女子の4位については、どうでしょうか。

深沢 この少人数の学校で、この結果はすごいと思います。ただし、わずかの差で3位を逃したのが悔しいです。

—川窪君は、部長として大きな部をまとめています。意識している点や工夫している点などを教えてください。

川窪 自分は、あまりリーダーシップもなく人を引っ張るのが得意でないです。

その分人より声を出したり、真剣に練習する姿を見せるようにしていました。周りからはどう見られていたかわからないけど(笑)

—萌絵さんは、県記録の更新も重ね、一般や大学生も出た県選手権大会では、フィールド分野で最優秀選手にも選ばれました。これまでどのような苦労や努力があったのですか。

深沢 ハンマー投げは、力だけでなく技術面も必要とします。例えば、投げる時の角度や身体の使い方を自分で分析しなければなりません。同時にウェイトで下半身の強化や地味な筋トレをする必要があるのが大変でした。

—辛かった時は、なかったですか。

深沢 3年生に上がるちょっと前に全然記録が伸びない時期がありました。その時は貴斗君とかに話を聞いてもらって...

川窪 あ、あったあった! そんなこと...投げたくないって言ってたよね(笑)

—すでに、部長は2年生になり、代替わりをしたと聞いています。後輩たちに求める事は何でしょう。

川窪 ここまで先輩方や自分たちが作り上げてきた団結力をさらに強めてもらいたいと思います。成績を残すだけではなく、少ない人数だからこそ、団結が大事だと思うので。

深沢 自分の記録とかもだけど、それだけでなく、人間としてというか、身延高校の陸上部はすばらしいと言われるようになってほしいです。



生徒会長
近藤佑生

みなさん、こんにちは。身延高校生徒会長の近藤佑生です。身延高校は、生徒数は少ないですが、皆が明るく雰囲気の良い楽しい学校です。学習面では、ドリームプロジェクトのもと、総合学科高校として多様な分野を学び、多様な進路を選択できます。部活動などでも県大会優勝や関東大会入賞など多くの成果を残しています。ぜひ一度見学や説明会に足を運んでください。

野球部 春の大会 ベスト16!!



夏に向けて
野球部 佐野貴紀



近年、野球部は“考える野球”を試合で展開し、各大会で必ず勝利を納めています。春の大会ではベスト8に入りシード権を取ることを目標にしていました。結果は残念ながら秋の大会と同じベスト16という結果でした。しかし、2試合とも接戦に持ち込めたことは、大きな成果です。特に初戦の富士学苑戦は1点差という僅差でした。また、5年ぶりの私学への勝利は大きな自信とともに、夏に向けてよい経験となりました。ベスト8をかけた都留高校戦では、競った試合でしたがチャンスであと一本が出ず、敗退しました。そのため1球の価値を上げることや、小さな妥協をなくすことに取り組んでいます。夏の大会は初戦から厳しい試合が続くと思いますが、粘り強く戦い抜き、創立以来初の甲子園出場を成し遂げます!

Smile

男子ソフトボール部 望月涼介



私たちのチームの持ち味は「Smile」です。総体では2試合ともコールド勝ちで優勝することができました。今年の関東大会は地元山梨での開催ということもあり、いつも以上に力が入ります。目の前の一戦一戦を大切に、一つでも多く勝てるようにしていきたいです。関東大会でも「Smile」を生かして優勝を目標に頑張ります! またその直後にあるインターハイ予選も確実に勝ち上がり、インターハイ出場を果たしたいです。

三年間

カヌー部 河西知尚



カヌー部は選手8名、マネージャー4名の12名です。皆、部の目標である関東大会出場に向けて日々練習をしています。総体では自分の出せる力を出し切りましたが、悔しい結果で終わってしまいました。なので関東大会では総体時よりも力を付けて上位になれるように頑張りたいです。3年生の私にとって6月の関東が最後の大会になるので悔いが残らないように頑張りたいです。

文化部のきずな

本校の文化部は、一つの部が何か行事があると、他の部も協力をするというスタイルができつつあります。今回の吹奏楽部の演奏会には、家庭クラブが地元のあけぼの大豆を使ったケージョを作成、販売しました。そしてそのパッケージは美術部が作成しました。



あけぼの大豆のケージョを販売する家庭クラブ



美術部が作成したパッケージ



県内最大規模である40名近い部員を擁する演劇部。一昨年は関東で第3位に。

第49回 定期演奏会開催!

吹奏楽部 鮎川莉緒



今回の定期演奏会は、BLAZEステージ、BRASSステージ、POPSステージの三部構成としました。BLAZEステージでは、ダンスをしながらの演奏となります。いつもは講師の先生に振り付けをお願いしていましたが、今回は自分たちで振り付けを考えました。BRASSステージでは、メリーミュージックアンサンブルの方々と合同という形で演奏させていただきました。「情熱大陸」「宝島」という曲を演奏しましたが、2曲とも難しくソロもあるため、最初のうちは苦戦していました。しかし、難しい曲だからこそ、合奏をして曲になった時の喜びや充実感はとても大きなものでした。POPSステージでは、お客さんに楽しんでいただくために、MCを工夫したり、途中でダンスを入れたりしました。幅広い年代の方に楽しんでいただけるよう1970年代から現在までの曲を選びました。

演奏会前の部活動では、何度か話し合いの場を設け、部全体や学年での方向性の統一を図りました。演奏会を通じて部内の雰囲気も変わり、元気で明るくだけでなく、そこにまとまりのある部が変わったと感じます。今後さらに厳しい時と、楽しむ時のメリハリのある部を目指していきたいです。